



サフラン便り

第16号 17年8月15日発行

発行:佐賀県女性薬剤師会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931

FAX:0952-23-8941

<http://www8.ocn.ne.jp/saffron>

第1回佐賀県血液推進協議会報告

7月22日(佐賀県庁にて)

佐賀県において、献血推進計画があることをご存知でしょうか?安全な血液製剤の安定供給の為の計画です。輸血用血液製剤に必要な量の献血者数の目標とそれを確保するために展開する事業が決められます。

16年度の必要量は、ほぼ達成されております。ただ、3,4月の供給量が他の月に比して若干少なかったようでした。皆さんご存知の通り、血液は保存期間が大変短く、非常時に使われる事が多く安定供給が重要であることはいうまでもありません。献血の目標を確保するための活動をご紹介したいと思います。

(1) 普及啓発活動*ポスター・ラジオスポット・献血推進団体への感謝状等の伝達、贈呈

* 献血キャンペーン(サマー・クリスマス・はたちの献血)

* 血液運搬車に「あなたの大切な血液を運搬中です」等のペイント

(2) 献血推進組織の育成 (市町村担当者研修会・学生献血推進委員研修会・

ライオンズクラブ献血研修会・献血推進リーダー研修会)

(3) 若年層対策(高校3年生へのパンフレット配布・卒業記念献血)

是非皆さんも献血に関心をもっていたいただければと思います。(宮地和子)



平成17年8月10日嬉野町産業文化センターに於いて、佐賀県赤十字血液センターの瀧延博先生が「献血の現状と最近の話題」についてお話をされました。

安全性の高い血液を安定的に医療機関に供給するために日々努力されていることを知り、微力ながら私たち薬剤師としても啓発活動をする必要性を感じました。

鹿島藤津支部女性理事 山口弥生

<キッズルーム開設のお知らせ>

今年度も女性薬部会は、お子様のいらっしゃる先生方の支援として、キッズルームを開設いたします。研修会の3日前までに、県薬の事務局まで申し込みをお願いいたします。

* 8月25日(木) 於:マリトピア

「新しく承認された一般用医薬品とインスリン製剤の事故防止対策に関する研修会」

* 9月4日(日) 於:県薬2階研修ホール

「診療ガイドライン薬剤コース」スクーリング講習会

* 9月から開催される県薬生涯教育研修会:毎回

<薬剤師・薬学生の為の救急蘇生法修得セミナーのお知らせ>

最近、佐賀県でも危機管理の重要性が言われています。地震等の自然災害、唐津地区の原発や鳥栖地区の交通要所等に対する対策が組まれています。そんな中、薬剤師もその一端を担わなければいけない時代になってきました。また、救急法を会得しておくことで、身近でおこる突発事故にも対処できると思います。このセミナーは救急医療の先進国アメリカで開発された世界安全機構プログラムです。医療従事者として薬剤師・薬学生なら受講必須の内容です。10名以上の参加者があれば、開催可能です。費用は約15000円程度。日程は未定ですが、11月頃を予定しています。是非ご参加ください。(男女問いません)

<第90回薬剤師国家試験問題>

あなたも解いてみよう??

(第1問)

非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか?

- a. アスピリンは解熱作用が強いが、重大な副作用に喘息発作の誘発がある。
 - b. メフェナム酸は鎮痛作用が強く、分娩後疼痛や歯痛などに用いられる。
 - c. ティゾロピデンは、生体内で活性代謝物に変換されて抗炎症作用を発揮する。
 - d. インドメタシンによる胃粘膜損傷の主な原因は、胃のシクロオキシゲナーゼ 2 (COX-2) の阻害である。
 - e. シクロオキシゲナーゼを阻害する薬剤を用いると経口投与の場合よりも肝臓における初回通過効果を受け易くなる。
- 1 (a,b,c) 2(a,b,e) 3(a,d,e) 4(b,c,d) 5(c,d,e)

(第2問)

カテコールアミンに関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか?

- a. 経口投与後吸収過程において、速やかに活性体のカテコラミンに変換される。
 - b. アンギオテンシン II 受容体を遮断して、副腎からのアルドステロン分泌を抑制する。
 - c. アンギオテンシン II 受容体を遮断して、血管平滑筋の弛緩を引き起こす。
 - d. カプトプリルと同様にブラジキニンの分解を抑制する。
- 1 (a,b) 2(a,c) 3(a,d) 4(b,c) 5(b,d) 6(c,d)



<乳癌における性差～男性乳癌～>

(日本女性薬剤師会全国研修会資料より抜粋)

札幌医科大学医学部 外科学第一講座 鈴木やすよ先生

男性乳癌からみた、女性乳癌との違い・性差について

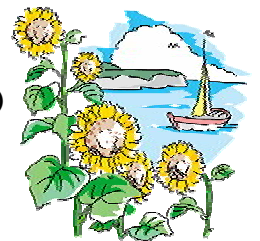
女性乳癌の約9割は、乳管上皮から発生し乳癌の組織型は非浸潤性乳管癌、浸潤性乳管癌に分類される。男性乳癌で最も多い組織型は女性乳癌と同じ浸潤性乳管癌であるが、中でも充実腺管癌が多く、女性に多い硬癌は少ない。

乳癌が男性に発生する理由は、男性にも解剖学的に乳管構造が存在しており、その部分から乳癌が発生するから。

男性乳癌に特徴：特定の発生原因はない。頻度は全乳癌の1%未満。

男性乳癌発生平均年齢(65歳) 女性乳癌発生平均年齢(53歳)

詳しくは日女全国研修会資料「もっと考えよう!性差医療」P101をご覧ください。



ちょっと一言

「三つ子の魂、百まで」と言われますが、すべての子供たちに幸せな幼児期を過ごして欲しいと心から願います。それと言うのも幼児期の体験により、今だに心の葛藤を抱え憎しみから開放されずに苦しんでいる人たちが多くことに気づかされます。子供たちが不幸を抱きしめたまま成長しないように、また安心できる心の基地がもてるように女性薬剤師の皆さん、明るく元気に顔晴りましょう。(島田)

解答 (1 . 1)

「第68回九州山口薬学大会」揃って参加しましょう
女性薬部会もポスター発表をする予定です。

子ら笑う夜店の金魚 逃しては
叱られし母なつかしや 蝉時雨
夏座敷ひとり占めする深ねむり
幼な子に小石は宝夏祭
サルビアの炎に残心の文もやす

(句集 虹 近藤由利子)